

「船橋市財務会計システム兼公営企業会計システム更新業務」に関する質問票

No	該当資料	該当頁・項番等	質問内容	回答
1	(1)船橋市財務会計システム兼公営企業会計システム更新業務に関するポータル実施要領.pdf	8. 評価方法及び評価基準	実機検査を実施する日程・時間（開始/終了）等はいつ通知いただけるか教えてください。	5月9日（火）に通知します。
2	(3)「船橋市クラウド基盤利用に係る要件等」.pdf	1.クラウド基盤サービス概要	仮想サーバの作成依頼を行う場合の制限があれば教えてください。 ・CPU:サーバ1台に対する上限、及び、本プロジェクトで指定できる合計の上限 ・メモリ:サーバ1台に対する上限、及び、本プロジェクトで指定できる合計の上限 ・ストレージ:サーバ1台に対する上限、及び、本プロジェクトで指定できる合計の上限	<サーバ1台に対する上限> 原則、以下を上限としております。なお、以下スペックよりもリソースが必要な場合は、本市と協議のうえ、決定いたします。 ・CPU:1台あたり20コア上限 ・メモリ:1台あたり128GB上限 ・ストレージ:1台あたり20TB上限 <本プロジェクトで指定できる合計の上限> 特に上限はありませんが、類似実績等の根拠を示したうえで、極力過不足が無いスペックを提案してください。その際、上記の上限値も考慮してください。なお、最終的な内容は、契約前に行う本市との協議により決定いたします。
3	(3)「船橋市クラウド基盤利用に係る要件等」.pdf	1.クラウド基盤サービス概要	仮想サーバのストレージにおいて、OS上ドライブ単位に、物理ディスクが別々になるように構築することは可能でしょうか。 ・C,D,E,F,Gドライブを物理ディスク上も別々の場合、物理ディスク故障による影響を最小限にできる。	仮想サーバのストレージにおいて、OS上の各ドライブ単位で物理ディスクが別々になるように構築することはできません。 なお、仮想サーバのストレージは複数の物理ディスクを束ねてプール化した構成となるため、仮想サーバ上のデータは複数の物理ディスクで冗長化されており、物理ディスク故障による影響を最小化しております。
4	(3)「船橋市クラウド基盤利用に係る要件等」.pdf	1.クラウド基盤サービス概要	仮想サーバのNICにおいて、複数指定することは可能でしょうか。 ・業務LANと管理LANと登録することで「業務システムベンダ」の作業の影響を最小限に抑える。 ※管理LANは、クラウド基盤上のOS間の作業、または、クラウド基盤上のOSと「現地開発端末」の作業を行うことを想定している。	仮想サーバのNICを複数指定することは可能ですが、上限として10枚までとなります。
5	(3)「船橋市クラウド基盤利用に係る要件等」.pdf	2.調達範囲（特にライセンス関係） (1) 仮想サーバOSの製品名と種類 A Windows Server	本プロジェクト開始時点で、指定可能な「Windows Server」のバージョンおよびエディション（Essentials、Standard、Datacenter）を教えてください。	バージョンについては、Microsoft社が提供しているバージョンであれば指定可能です。ただし、OSのサポート期限を考慮し、可能な限り最新バージョンをご検討ください。 また、エディションとしては、StandardとDatacenterが指定可能です。
6	(3)「船橋市クラウド基盤利用に係る要件等」.pdf	●JIP・業務システムベンダの役割 【バックアップ設定】	ファイルバックアップ先は、本プロジェクトで利用する業務システム用仮想サーバとは別のサーバのディスク領域に保存するで、合っていますでしょうか。 また、制限事項（バックアップ可能サイズなど）を教えてください。	お見込みのとおり、ファイルバックアップサーバのディスク領域と業務システム用仮想サーバのディスク領域は、別のストレージ筐体となります。 また、制限事項は特にありません。
7	(3)「船橋市クラウド基盤利用に係る要件等」.pdf	●JIP・業務システムベンダの役割 【バックアップ設定】	「OSイメージバックアップは、クラウド基盤運用事業者が過次でバックアップ取得が基本運用となり、1世代保管となる。」とありますが、仮想サーバに設定されたすべてのディスク領域でしょうか、OSが含まれるディスク領域のみ（Cドライブのみ）でしょうか。	OSイメージバックアップの取得対象は、仮想サーバに設定されたすべてのディスク領域となります。
8	(3)「船橋市クラウド基盤利用に係る要件等」.pdf	●JIP・業務システムベンダの役割 【バックアップ設定】	スナップショット形式するタイミングでは、OS及び業務システムは停止する必要がありますか。また、取得タイミングを教えてください。	スナップショットを取得するタイミングで、OS及び業務システムを停止する必要はありません。 また、スナップショットの取得は、午後7時から午前5時の間に行います。